

■ 人の手って…

人の手がこんなに温かいということを知った。私はあの時初めて知った。

今年の10月、突然のがん宣告。心の整理ができてぬまま、私は11月26日、手術台に載った。た

くさんの先生や看護

師さんに囲まれ麻酔

の準備ができるのを

心許ない気持ちで待

っていた。その時、

私の左側にいた看護

師さんが私の手をそ

っと握ってくれた。

何も言わないけれどその

手からは「大丈夫、大丈

夫」という声が伝わって

きて、思わず涙がこぼれ

そつになった。

その温かくて柔らかい

66歳

(高松市 藤本京子)

サヌカイト

感触に包まれて、やがて私は深い眠りに落ちた。

どのくらい時間が経過したのだろうか。「藤本さ

ん、終わりましたよ」という声で私は目覚めた。

朦朧とする頭で数時間

前のあの手の温もりを

思い出し、その人を捜

すが見つからない。結

局、集中治療室でも病

室でもその人には会え

ぬまま、術後1週間で

退院した。

名前は覚えていない

けれどあの温もりだけは

今もなおしっかりと覚え

ている。私はあなたのそ

✉ 「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国新聞社生活文化部「サヌカイト」係。ファクス〈087(833)2281〉、メール〈bunka@shikoku-np.co.jp〉でも受け付けます。

■ 人の手って…

人の手がこんなに温かいということを知った。私はあの時初めて知った。

今年の10月、突然のがぬまま、私は11月26日、手術台上に載った。た

くさんの先生や看護師さんに囲まれ麻酔の準備ができるのを心許ない気持ちで待っていた。その時、

私の左側にいた看護師さんが私の手をそっと握ってくれた。

何も言わないけれどその手からは「大丈夫、大丈夫」という声が伝わってきて、思わず涙がこぼれそつになった。

その温かくて柔らかい

サヌカイト

感触に包まれて、やがて私は深い眠りに落ちた。どのくらい時間が経過したのだろうか。「藤本さん、終わりましたよ」という声で私は目覚めた。

朦朧とする頭で数時間前のあの手の温もりを思い出し、その人を捜すが見つからない。結局、集中治療室でも病室でもその人には会えぬまま、術後1週間で退院した。

名前は覚えていないけれどあの温もりだけは今もなおしっかりと覚えている。私はあなたのその手に救われました。

66歳
(高松市 藤本京子)

「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国新聞社生活文化部「サヌカイト」係。ファクス <087(833)2281>、メール <bunka@shikoku-np.co.jp> でも受け付けます。

人の手って...

人の手がこんな温か
 いといつとぞ、私はあ
 の時初めて知った。
 今年の10月、突然のが
 ん宣告。心の整理ができ
 ぬまま、私は11月20日、
 手術台に載った。た
 くさんの先生や看護
 師さんに囲まれ麻酔
 の準備ができるのを
 心許ない気持ちで待
 っていた。その時、
 私の左側にいた看護
 師さんが私の手さそ
 っと握ってくれた。
 何も言わなけれぞの
 手からは「大丈夫、大丈
 夫」という声が伝わって
 きて、思わき涙がこぼれ
 その温かくて柔らかい
 66歳)

サヌカイト

名前が覚えていない
 けれどあの温もりだけは
 今もなおしっかりと覚え
 ている。私はあなたので
 の手に救われました。
 (高松市 藤本京子。
 退院した。
 ぬまま、術後1週間で
 室でもその人には会え
 肩、集中治療室でも病
 すが見つからない。結
 思ひ出し、その人を捜
 前のあの手の温もりを
 臆懼とする頭で数時間
 いう声で私は目覚めた。

「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとぬ
 住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国
 新聞社生活文化部「サヌカイト」係。フアクス <087(833)2281>、
 メール <bunaka@shikoku-np.co.jp> でも受け付けます。

人の手って...

人の手がこんな温か
 感触に包まれて、やがて
 いとこどき、私はあ
 の時初めて知った。

今年の10月、突然のが
 たのだらうか。「藤本さ
 ん、心臓の整理ができ
 ぬまま、私は11月26日、
 手術台に載った。た

サヌカイト

くさんの先生や看護
 師さんに囲まれ麻酔
 の準備ができるのを
 心許ない気持ちで待
 っていた。その時、
 私の左側にいた看護
 師さんが私の手さき
 っこ握ってくれた。

何も言わなけれどその
 手からは「大丈夫、大丈
 夫」という声が伝わって
 きて、思わぬ涙がこぼれ
 そじになった。

名前が覚えていない
 けれどあの温もりだけは
 今もなおしっかりと覚え
 ている。私はあなたので
 の手に救われました。
 (高松市 藤本京子、
 66歳)

「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとぬ
 住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国
 新聞社生活文化部「サヌカイト」係。フックス <087(833)2281>、
 メール <bunka@shikoku-np.co.jp> でも受け付けます。